

TRB第96回年次総会

TRB 96th Annual Meeting in Washington D.C

岡 英紀* 須永大介** 萩野保克***

By Hideki OKA, Daisuke SUNAGA and Yasukatsu HAGINO

1 はじめに

Transportation Research Board (TRB) 96th Annual Meeting¹⁾は、2017年1月8日～12日の日程で、アメリカのワシントンD.C.で開催された世界最大規模の交通に関する国際学会である。この国際学会において、当研究所から東京都市圏物資流動調査の検討成果の一部を報告するとともに、交通に関する最新の研究の動向に関する情報を収集した。本稿では、その概要を報告する。また、直接、当研究所が行った研究活動ではないが、東京都市圏物資流動調査を用いたイリノイ大学シカゴ校の研究成果の発表もあったため、併せて本稿にて紹介する。



写真-1 会場の様子

2 TRB年次総会に参加して

(1) TRB年次総会の概要

TRBは、例年非常に大規模に開催されており、交通分野に関する最新の情報が膨大に発信されている。並行して開催されている論文発表やポスターセッションの数も多く、どのセッションを受講すれば良いか悩むことも多い。

当研究所で関心を持っている自動運転に関する発表やポスターも相当数が確認された。自動運転に関しては、それ単独では無く、自動運転が実用化された世界において、ライドシェアサービスやMaaS (Middleware as a Service)、電気自動車 (EV) の普及などとの組み合わせによって、モビリティがどのように変わっていくのかが議論されるセッションが多数あったとの印象を受けた。また、当研究所から発表を行った都市物流に関しては、物流調査の実施手法や都市内における端末物流の効率化といった発表やポスターが目についた。

(2) 当研究所からの発表

今回、当研究所がTRBで発表したのは、本研究所報で別途報告している「世界大都市交通発展フォーラム2016北京」にて剣持研究員と同じく講演者であったUniversity of California Davis (UC Davis) のProf. Miguel Jallerから、TRBの物流調査小委員会での講演を依頼されたことがきっかけであった。

今回は、当研究所の岡研究員から、東京都市圏物資流動調査の概要、東京都市圏で検討している物流施策の内容と、その前提となる調査データの解析結果等を発表した。発表後のディスカッションでは、東京都市圏物資流動調査のサンプル数や回収率が極めて高いことなどに対して意見交換を行うとともに、今後各国で物流調査を実施するにあたっての、研究者や実務者の悩みや工夫に対して活発な討議が行われた。

* 社会基盤計画研究室 研究員 ** 交通まちづくり研究室 室長 *** プロジェクト推進担当部長 博士 (工学)

(3) イリノイ大学シカゴ校の研究チームの発表

イリノイ大学シカゴ校の河村教授、坂井研究員らの研究チームは、東京海洋大学の兵藤教授と共同で都市物流に関する研究を継続的に行っている。今回のTRBでは、これらの研究成果の中から、Logistics Chain Modeling for Urban Freight: Pairing Truck Trip Ends with Logistics Facilitiesというタイトルで、物流施設立地と交通ネットワークを併せて計画する手法の発表があり、TRB Urban Freight Transportation Committeeにおいて、Best Paper Awardを受賞した。この研究は、当研究所が関わっている物資流動調査を活用した研究成果を英文で海外へ発信したものであるため、本稿においても紹介したい。引き続き、海外の研究チームとも情報共有を進めつつ、それぞれで研鑽していきたいと考えている。

3 おわりに

冒頭にも述べたとおり、TRBでは毎年膨大な情報が発信されており、交通に係わる最新の研究動向のモニタリングという意味で、これからも継続して参加する意義は大きいと感じた。特に、本稿でも自動運転に係わる研究動向の一部を紹介したが、このような新技術に関しては、我が国でも話題になることは多い。TRBで得られる情報は、単に新技術の活用に留まらず、それらの新技術を前提にした交通計画といった、これからの政策立案に結び付く示唆を得るという側面において、大変意義深いと感じた。

参考文献

- 1) TRB, 96th TRB Annual Meeting Final Program
- 2) TRBウェブサイト,
<http://www.trb.org/Main/Home.aspx>



写真-2 講演後のProf. Jaller (左) と岡研究員 (右)



写真-3 授賞時の様子

(左から2人目：河村教授、右端：坂井研究員)

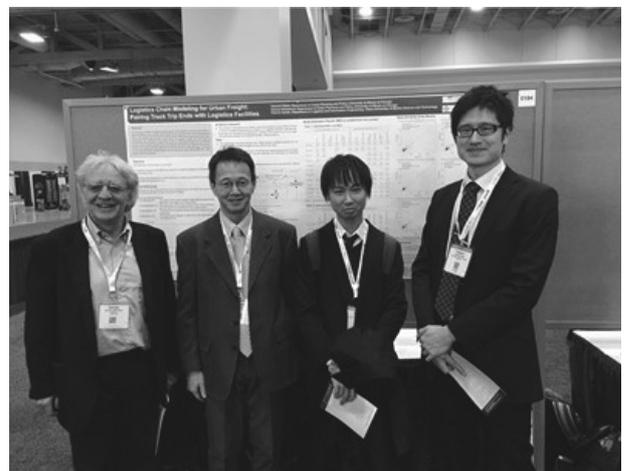


写真-4 ポスター発表時の様子

(左2人目から順に河村教授、岡研究員、坂井研究員)